



We wish you a happy New Year.

院長談話

院長 橋本 大定

昨年は、しばらく閉鎖されていたB棟3階病棟も再稼働し、眼科、整形外科、消化器外科の手術件数の増加に加え、救急診療における「お断りゼロ！大作戦！！」も軌道に乗り、地域医療の中核病院としての機能も充実しつつあります。

わが佐野市民病院の位置する佐野市北部には、広大な山間部医療過疎地が存在しており、野上診療所、新合診療所、飛駒診療所、常盤診療所、氷室診療所の五つの僻地診療所では、自治医科大学から派遣された若い先生方を中心とした医療奉仕がなされています。

本年は、これらの僻地診療所とその中核となる佐野市民病院との連携を、さまざまな面で深めたい所存です。

既に、これらの診療所と当院の間には、ICT（情報通信技術）医療連携システム、「さのまるネット」が構築されていますが、更に、当院地域医療連携室を経由して、内視鏡やCT検査などをよりスムーズに実施、遅滞なく日々の臨床実践を構築してまいります。

僻地で奉仕されておられる先生方を支え、彼らの医師としての一層のスキルアップを図るために何ができるのか・・・これが私に与えられた本年の課題と心得る次第です。

「生命こそ第一
患者・家族・地域と
共に生きる医療」

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年 元旦

佐野市民病院 院長 橋本 大定



＊ ＊ ご存知ですか？

スギ花粉症免疫療法(飲むワクチン) ＊ ＊



スギ花粉症の患者さまにとっては、つらい時期がやってきました。スギ花粉症は、今や、国民の6人に1人が悩んでいると言われる国民病です。スギ花粉症の治療では、内服薬や点鼻薬を用いた薬物療法が主流ですが、根本的治療法としてスギアレルゲンを皮下注射する免疫療法(痛い免疫療法)もこれまで行われてきました。これに対し、数年前に山口大学の研究チームが開発した「飲むワクチン」が昨年認可されました。

「飲むワクチン」を用いた痛くない免疫療法が、当院耳鼻咽喉科外来でも始まりです。

◆治療をご希望の方は、「飲むワクチンについての説明会」に参加が必要です。

【お問い合わせ】 地域医療連携室 電話(62)-9024(直通)

クリスマスコンサートを開催しました♪



12月6日(土)、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。「院内保育所のみなさんの一生懸命な姿がかわいい」「ソプラノコンサートの美しい歌声が素晴らしかった」との声をいただきました。牧野先生はじめ、青木先生、山田先生、大坪先生ありがとうございました。



黄だん外来・貧血外来が始まりました!

12月より、外科外来にて黄疸外来・貧血外来が始まりました。外科の、下村 一之医師が担当いたします。

◆ 下村医師の診療日 ◆

- ・黄だん外来・一般外科外来
毎週水曜日(午後)
- ・貧血外来
第1・3・5土曜日(午前)

ご相談
ください!



【お問い合わせ】 医事課 電話(62)-5111

認知症サポーター フォローアップ講座



認知症サポーター養成講座を受講した方を対象に、さらなる認知症の理解と対応の仕方などを考えるフォローアップ講座を開催します。

日時：3月7日（土）10時～11時30分
会場：佐野市民病院A棟5階研修室
講師：地域包括支援センター職員
受講料：無料
対象：認知症サポーター養成講座を受けたことがある方

【お問い合わせ・お申込み】
地域包括支援センターへ直接、
またはお電話で。
電話（62）-8281（直通）

ご寄附を いただきました



佐野法人会女性部さまより、タオルとぞうきんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。



ご参加を
お待ちしております！



* 市民講座のお知らせ *

★ 1月 「大腸カプセル内視鏡」

日時：1月29日（木）午後4時～5時
講師：稲葉 陽子 医師（日本消化器内視鏡学会専門医、
当院常勤 総合内科・総合外科医師）



★ 2月 「スギ花粉症に対する飲むワクチンの話」

日時：2月 5日（木）午後4時～5時
講師：盛川 宏 医師（サンライズクリニック院長、
当院非常勤 耳鼻咽喉科医師）



★ 2月 「黄だんの見分け方とその治療」

日時：2月25日（水）午後4時～5時
講師：下村 一之 医師（帝京大学医療技術学部 准教授、
当院 非常勤外科医師）

受講料は
無料です！

会場：佐野市民病院A棟5階研修室
申込方法：地域医療連携室に直接またはお電話でお申込みください。
地域医療連携室 電話（62）-9024

○ 生活の豆知識 ○ 旬の魚「鱈(たら)」



魚へんに雪と書いて鱈(たら)、この字は日本人が作った和製漢字だそうです。元禄時代に刊行された食材事典、『本朝食鑑《ほんちょうしょっかん》』に、「鱈」という漢字の由来として、「鱈は初雪の後に取れる魚ゆえ、雪に従う」とあります。他にも、「冬に美味しい魚だから」とも、「身が雪のように白いから」とも言われています。

鱈は雑食で、あまりにも何でも食べるので、昔は「大口魚」と呼ばれており、餌となる対象は雑魚や魚介類や海藻など、100種を超えます。そのため、量や数が多いことを指す「鱈腹《たらぶく》」や「矢鱈《やたら》」という言葉の当て字に使われ、「太っ腹」の語源となってきました。

生の鱈が調理して食べられるようになったのは、江戸時代からだと言われています。東北や日本海側で獲れた鱈は冬場、各地の氷室で氷を詰め直され、江戸の町にも運ばれてくるようになりました。

新鮮な鱈は切り身が大きめで、透明感があり、張りがあること。汁がトレイに出ていたり、身が黄色っぽくなっているもの、皮の縁が反っているものは避けましょう。

また、鱈には、良質のたんぱく質やカルシウムなどが多く含まれています。脂質が少なくヘルシーで、各種ビタミン類や亜鉛もあるため、骨粗鬆症や風邪を予防し、美肌効果もあります。

～車 浮代著 「旬を楽しみ、身体が喜ぶ江戸料理」より引用～



外来診療のご案内

<受付時間> 午前8時～11時 : 午後1時～4時

<診療科目> 内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／消化器外科／麻酔科／
脳神経外科／小児科／婦人科／眼科／皮膚科／泌尿器科／
耳鼻咽喉科／外科／放射線科／リハビリテーション科／整形外科／

<休診日> 第2・4土曜日／日曜日／祝日
(* 第1・3・5土曜日は、午前中のみ診療しております)

<診療予定> 事前にお電話でお問合せください。

予告なく診療予定が変更になる場合がございます。事前にお電話等でご確認をお願いいたします。また、診療の予約、キャンセル、変更は下記の時間帯にお電話をお願いいたします。

お電話での受付時間 月曜日～金曜日 午後2時～5時30分

電話番号 0283-62-5111 (代)

○糖尿病・腎センター○

<診療日> 月曜日～土曜日(午前・午後)
<休診日> 日曜日(*祝日は診療しております)



〒327-0317 栃木県佐野市田沼町1832番地1
【TEL】0283(62)5111(代) 【FAX】0283(62)0811
佐野市民病院Eメール sinsoumu@sanoshimin-hp.net
佐野市民病院ホームページ http://www.sanoshimin-hp.net/